

自然と人との共生「マロニエ親子キャンプ」～山の作業

- ☆ 日 時：平成22年7月31日（土） 9：00～12：00
- ☆ 場 所：マロニエの森（山口市宮野岩杖）
- ☆ 参加者：62人（こども41人・大人21人）
- ☆ 主 催：マロニエの森の会

1 スケジュール

- 9：00～ 受付・開会
- 9：30～10：00 オリエンテーション
- 10：00～12：00 山の作業（草刈等）

2 活動内容

こどもたちと保護者が里山の散策と草刈等の作業を行う。また、間伐した木で、キャンプファイヤーで使用するトーチを作成する。

【開会行事】



はじめに、マロニエの森の会代表の斉藤氏の挨拶、事務局の杉山氏から行事日程の説明がありました。続いて、行事の注意事項を担当者から説明を受けました。連日30度を超す日が続いていることから、体調を考え、竹を切る作業は大人で実施することになりました。また、参加者は水分補給をしっかりすること、無理をしないことを約束しました。

【活動内容】



建物右手の小山がフィールド。山の入口まで、草刈がされていました。参加者は腰に鋸を装着し、頭から虫除けのネットをかぶって山に入りました。



不用な竹を伐り、下草を刈りました。不用な木や枝を落とされた山に木漏れ日が差し、明るくなりました。



先行した大人が竹を切った場所の散策道と会員から説明を受けて登る参加者



散策道のシダ等を刈ります

昨年、この山に植樹した木や、樹木医を講師に招いて実施した学習会でつけた樹名板（木の名前と樹名板を取付けた人の氏名が記載されているもの）を捜して、記憶にある大きさと比べながら、立派になった木を見上げている参加者もいました。また、コシアブラ（木）を見上げて、「少し切って木を低くして、コシアブラの新芽が取れるような高さにしよう」などの意見が出ていました。



トーチにちょうど良い太さの雑木を間伐中



こどもも間伐を体験しました。なかなか鋸がいうことをきかず苦労していましたが、会員の指導の下、ひとりで伐り終えました。



6月に植えられたさつまいもの苗が青々としていました。



午後からの行事までの間、周囲の散策をしていた家族が、アオダイショウを発見！アオダイショウは捕まり、こどもから大人までに触られました。触った人の反応は「冷たい！きらきらしている」でした。

その後、放されたアオダイショウは、そそくさと草の中に退散しました。

団体の拠点施設の側にある小山は、昔は薪をとっていた里山で、そこに散策道を整備し一般の人が歩きやすいようにしたそうです。その山から春にはコシアブラや筍等の山の恵みをもらいます。また、山の麓では、畑をつくり、現在はさつまいもが植えられ育っていました。この苗は今回の事業で購入されたもので、6月にみなさんで植えられ秋には、さつまいもの収穫が行われます。